

令和3年10月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,398	213,325	212,700	213,273	625	52
2 調定水量	m ³	632,936	4,577,068	4,554,000	4,595,172	23,068	△ 18,104
3 調定料金(税抜)	円	170,142,881	1,224,089,545	1,224,000,000	1,231,241,387	89,545	△ 7,151,842
4 口振加入件数	件	25,073	175,899	—	175,917	—	△ 18

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,643	130,177	128,240	128,212	1,937	1,965
6 調定水量	m ³	386,324	2,774,520	2,704,100	2,759,024	70,420	15,496
7 調定料金(税抜)	円	61,250,815	438,403,860	426,095,000	435,203,823	12,308,860	3,200,037

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,619	—	77,429	△ 810
9 給水件数	件	30,239	—	30,221	18
10 開栓処理件数	件	205	1,781	1,780	1
11 閉栓処理件数	件	217	1,711	1,709	2
12 給水工事設計審査	件	46	316	393	△ 77
13 給水工事竣工検査	件	36	380	544	△ 164
14 経年メーター交換	件	568	2,410	3,156	△ 746
15 メーター口径変更	件	1	39	37	2
16 督促状発送数	件	1,413	9,347	9,333	14
17 月末停止件数	件	86	—	109	△ 23

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	30	233	232	1
19 排水設備工事完了検査	件	25	188	222	△ 34

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	197,278,701円	85.35%	198,942,141円	85.31%
21 過年度分	4,112,510円	97.87%	4,647,048円	97.56%
22 計	201,391,211円	—	203,589,189円	—

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	80,676,209円	83.27%	80,304,347円	83.23%
24 過年度分	764,188円	99.04%	924,861円	98.80%
25 計	81,440,397円	—	81,229,208円	—

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	4,788,700円	86.43%	5,816,500円	86.46%
27 過年度分	2,343,900円	12.18%	2,619,800円	20.67%
28 計	7,132,600円	—	8,436,300円	—

特 記 事 項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・水道事業

ア 収益的収支

当期の水道料金は187,140千円(税込)で、前月期に比べて10,010千円の減、対前年同月比では2,465千円の減となり、営業収益は187,667千円、営業外収益は事務手数料など4,973千円となりました。当期の営業費用は委託料や修繕費など78,592千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金及び加入金として1,728千円の執行となりました。支出は、職員給与費などを含む事務費や調査設計費として19,162千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は67,376千円(税込)で、前月期に比べて3,717千円の減、対前年同月比では137千円の減となっています。営業収益は67,413千円、営業外収益は負担金など1,485千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や委託料など80,910千円執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、分担金及び負担金として234千円の執行となりました。支出は、工事請負費や事務費などの建設改良費14,310千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 料金等あり方検討委員会及び上下水道事業運営審議会が開催されました

第2回登米市水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会が10月13日(水)に開催されました。保呂羽浄水場及び佐沼浄化センターを視察した後、水道料金及び下水道使用料等あり方の検討についての審議を頂きました。委員からは経営分析の状況や水道料金の算定基準等などの質問を頂きました。また、第2回上下水道事業運営審議会が10月25日(月)に開催され、施設視察後、水道料金及び下水道使用料等あり方の検討及び施設統廃合計画について審議を行いました。委員からは管路の更新率についてや職員の適正な人員配置数等の質問を頂きました。



【料金等あり方検討委員会の様子】



【上下水道事業運営審議会の様子】

(2) 上下水道事業職員研修について

10月28日(木)に部内の安全衛生委員会主催で職員研修を開催しました。医療局の佐藤歯科口腔保健専門官を講師として「いつでも健口生活を」と題し、講演をいただきました。いつまでも健康で、豊かな生活を送ることができるように、歯の健康にすることが大事であり、口の健康は全身の健康につながっていることや、健康寿命を長くするための秘訣などを教えていただきました。



【職員研修の様子】

令和3年10月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	827,221	5,852,330	5,565,320	5,812,515	287,010	39,815
総配水量	772,869	5,460,695	5,181,880	5,391,259	278,815	69,436
1 有効水量	674,121	4,893,391	4,910,500	5,024,926	△ 17,109	△ 131,535
(1) 有収水量	637,315	4,608,104	4,584,800	4,629,251	23,304	△ 21,147
(2) 無収水量	36,806	285,287	325,700	395,675	△ 40,413	△ 110,388
2 無効水量	98,748	567,303	271,380	366,333	295,923	200,970
(1) 漏水量	98,577	564,522	267,000	364,085	297,522	200,437
(2) その他無効水量	171	2,781	4,380	2,248	△ 1,599	533
3 有収率	82.46%	84.39%	88.48%	85.87%	-4.09%	-1.48%

※ 当月期の最大配水量は、18日（月）に記録した【25,995m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	1	19,626	0	0	834	95.9%
浄水施設整備事業	6	57,420	2	2,545	1	3,828	51,047	11.1%
配給水施設整備事業	54	1,163,640	29	649,274	10	47,270	467,096	59.9%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 下り松ポンプ場原水着水井・沈砂池清掃を実施

10月27日（水）28日（木）下り松ポンプ場において、浄水施設等管理運営業務受託者により、原水着水井と沈砂池の清掃作業を実施しました。この作業は、池の中に堆積した土砂を排除することと、施設の点検を目的として行うものです。作業は年1回実施します。



【沈砂池清掃状況】

2 漏水調査について

有収率向上対策のため、配水施設等維持管理業務受託者により漏水調査を実施しています。10月末の漏水調査結果は、累計で99件95.171m³/hの漏水を発見し、有収率は84.39%となっています。

有収率は前年度に比較して1.48ポイント低くなっています。今後、夜間最小流量が増加した地区に対して監視型機器により路線の選別と流量測定を実施し、その地区内における漏水量の絞り込みを行い、漏水の早期発見、有収率の向上を図ります。



【路面音調調査状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	38	48.787
	付属施設	0	0.000
	給水装置	61	46.384
	計	99	95.171

【漏水調査結果：10月】

※参考：漏水削減効果（金額換算）
約628,151円/日当たり
算定：R2年度給水原価 275.01円
累計漏水量 95.171m³/h
95.171m³/h×24h×275.01円

【路面音調調査とは】

漏水探知器を使用し、路面や弁栓に伝達する音を聴音することで、漏水の有無を判別する方法です。漏水音を漏水探知器で電氣的に増幅させ、技術者の聴覚により探知します。この調査は通常騒音の少ない夜間に行います。

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	271,247	1,918,306	1,882,542	35,764		1処理場
特定環境保全公共下水道	56,683	392,395	394,102	△ 1,707		3処理場
米谷・錦織処理区	12,123	84,316	88,973	△ 4,657		
豊里処理区	32,460	221,667	215,483	6,184		
津山処理区	12,100	86,412	89,646	△ 3,234		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	12,127	91,428	92,719	△ 1,291		
農業集落排水	108,171	799,495	828,205	△ 28,710		24処理場
迫地区	10,257	70,956	65,619	5,337		
東和地区	2,880	22,045	21,416	629		
中田地区	21,132	198,714	221,917	△ 23,203		
豊里地区	1,977	14,242	14,903	△ 661		
米山地区	51,270	351,667	362,404	△ 10,737		
南方地区	20,655	141,871	141,946	△ 75		R3. 4. 1時点
浄化槽（特地・個排）	41,391	295,658	285,389	10,269		1,934基
合計	489,619	3,497,282	3,482,957	14,325		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	554,183	13	367,779	0	12,806	173,598	68.7%
ポンプ施設整備事業	1	16,390	1	15,950	0	0	440	97.3%
処理施設整備事業	88	414,549	28	121,123	30	46,351	247,075	40.4%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計を記載。件数には合冊契約している箇所数を含む。

特記事項

1 農業集落排水処理施設の更新に伴うアンケート調査の実施

現在、南方町の新高石地区、畑岡地区および米山町の中津山地区の皆様に対し、農業集落排水施設の機器更新に伴うアンケート調査を実施しています。この調査は、経年劣化により機能が低下しつつある処理施設の改修を計画するにあたり、改修後のより精度の高い効果を算出するための調査で、対象となる地区の皆様アンケートへのご協力をお願いしています。



【浄化槽整備状況】

2 迫町大東地区雨水排水路築造工事完了（R2線越分）

令和3年10月27日に迫町大東地区雨水排水路築造工事が完了しました。この工事は、迫町大東公園周辺の内水処理の対策として令和元年度より工事着手しており、令和2年度線越工事においては、排水樋管工及び函渠工(L=152.21m)を整備しました。

○浄化槽整備事業受付状況
(10月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	79	1